



One

たった1つの自分の母校



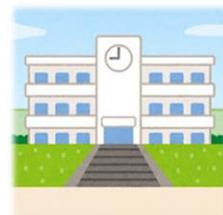
## 「あいさつ」から伝わること

毎朝、昇降口前で生徒のみなさんを迎えていると、とてもいい気分が一日がスタートできます。まだまだ全校生徒の顔と名前が一致していないので誰とは言えなくて申し訳ないのですが、いつも生徒のみなさんの姿に元気づけられています。



私が生徒のみなさんとあいさつを交わしていつも感じていることですが、「全員が快くあいさつしてくれている」と思います。

あいさつは様々です。「おはようございま〜す。」と自分からあいさつする人、あいさつされると「ニコッ」と笑顔で返してくれる人、あいさつするとマスクの下で口が動いている人（「おはようございます。」と言ってるのがわかります）、礼儀正しい態度で「ペコッ」と頭を下げる人、数メートル前から「校長先生、おはようございま〜す!!」と大きな声であいさつしてくれる人、恥ずかしそうにしながらも（決して無視せずに）目であいさつする人、「今日は早く起きたんですよ。」と必ず何か一言かけてくれる人…。あいさつのしかたは様々ですが、誰一人として知らんぷりせずに、自分のやり方であいさつしてくれます。それが私には伝わるので、「全員が快くあいさつしてくれている」と思っています。



人それぞれに個性があり、感情があります。さらにその日の体調などを加味すると、全校生徒が毎日「大きな声で元気にあいさつ」できるわけがありません。「全員が」「大きな声で」「笑顔で」「元気に」「さわやかに」…。そんなことにはこだわりません。もしかしたら前の晩よく眠れなかったかもしれない。朝から親子ゲンカしてきたかも。「ヤバっ、宿題やってない…。」そんな憂鬱な気持ちの人もあるかもしれないですね。

しかし、全校誰一人として知らんぷりする人はいないのです。先生たちを含めると500人以上の人が「自分なりに」あいさつをしてくれます。「こんな素晴らしいことはなかなか無いよなあ。」と思います。だからみなさんのおかげで、毎朝とても気分がいいんです。

さあ、明日の朝も、自分なりのやり方であいさつをお願いします。

あなたのあいさつはいつも私を幸せな気分にしてくれます。そして、他の生徒や先生、たくさんの人も幸せな気分にしています。

